2025年４月30日

各　位

会 社 名　京 成 電 鉄 株 式 会 社
代表者名　取締役社長　小林　敏也
（コード番号 9009 東証プライム市場）
問合せ先
総務部総務・法務課長 小松崎　一朗
（TEL. 047-712-7061）

Palliserとの対話の経緯に関するお知らせ

当社株主であるPalliser Capital Master Fund Ltd（以下、「Palliser」といいます。）が、2025年4月 24 日、プレスリリースとプレゼンテーション資料「緊急の対応が必要なとき：京成電鉄のＤ２プランと取締役会再構成」（以下、「Palliser 主張資料」といいます。）を公開していることを確認いたしました。

Palliser主張資料の内容は、当社と見解が異なる点が多々ございますが、とりわけ、社外取締役候補者の推薦に関する今日に至るまでの経緯につきましては、事実に即していないと考えており、当社として戸惑いを感じております。

具体的には、Palliserから５人の社外取締役候補者を2025年６月に開催予定の定時株主総会（以下、「本株主総会」といいます。）において推薦したい旨の意向が最初に示されたのは2025年3月5日でございましたが、当社としては、Palliserから社外取締役候補者が推薦されるのであれば、指名・報酬委員会での面談を含めて取締役選任のプロセスに沿って真摯に検討をさせていただくべく、３月 14 日、３月 19 日、３月 25 日、４月 10 日と複数回に亘り、速やかに候補者の氏名、経歴等の具体的な情報の共有をいただけるよう、一貫して要望しておりました。斯かる経緯にかかわらず、Palliserは、候補者の具体的な情報を提供せず、2025年４月24日になって初めてこれらの情報を提供してきた次第ですが、当該情報提供と同時にPalliserはPalliser主張資料を公開し、かつPalliser主張資料において、当社があたかも面談を拒否していたかのような記載がなされている点は、事実と大きく異なるものであり、当社としては大変遺憾に感じております。

また、Palliser主張資料においては、本株主総会終了以降における臨時株主総会招集請求の可能性が示唆されておりますが、Palliserが推薦する取締役候補者を本株主総会における会社提案の候補者とすることを真に望まれているのであれば、当社が当初より一貫して要望して参りました通り、本株主総会に十分に先立って候補者の氏名、経歴等の具体的な情報のご提供をいただくべきだったものと考えております。

しかしながら、当社といたしましては、株主の皆様方の声に耳を傾けて建設的な対話を継続して参りますので、今般ご推薦いただいた取締役候補者の皆様とは、指名・報酬委員会の面談を行い、当社の中長期的な企業価値向上の観点から真摯に検討をさせていただく予定です。

株主を始めとするあらゆるステークホルダーの皆様方におかれましては、引き続きご支援を賜れますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、当社グループの中期経営計画「Ｄ２プラン」（2026 年３月期の連結業績予想を含む）につきましては、2025年５月21日に開示を行う予定としておりますことも、併せてお知らせいたします。

以 上